

PORT：情報の海の確かな拠点 「小さなコト」 がつくる新しい地形

拡張する情報ライブラリー

情報・DX時代と呼ばれる今、図書館は、オンサイト（館内）で出版物などリアルな資源や情報にアクセスできることに加え、オフサイト（館外）でも学びの機会をリアルに、デジタルに享受できる基盤（PORT）となることが求められています。
時間や空間の制約から解き放たれ、「静岡」から「世界」にダイレクトにつながる知の拠点、ここにしかない、拡張する情報ライブラリーをつくります。

ランドマークからランドスケープへ

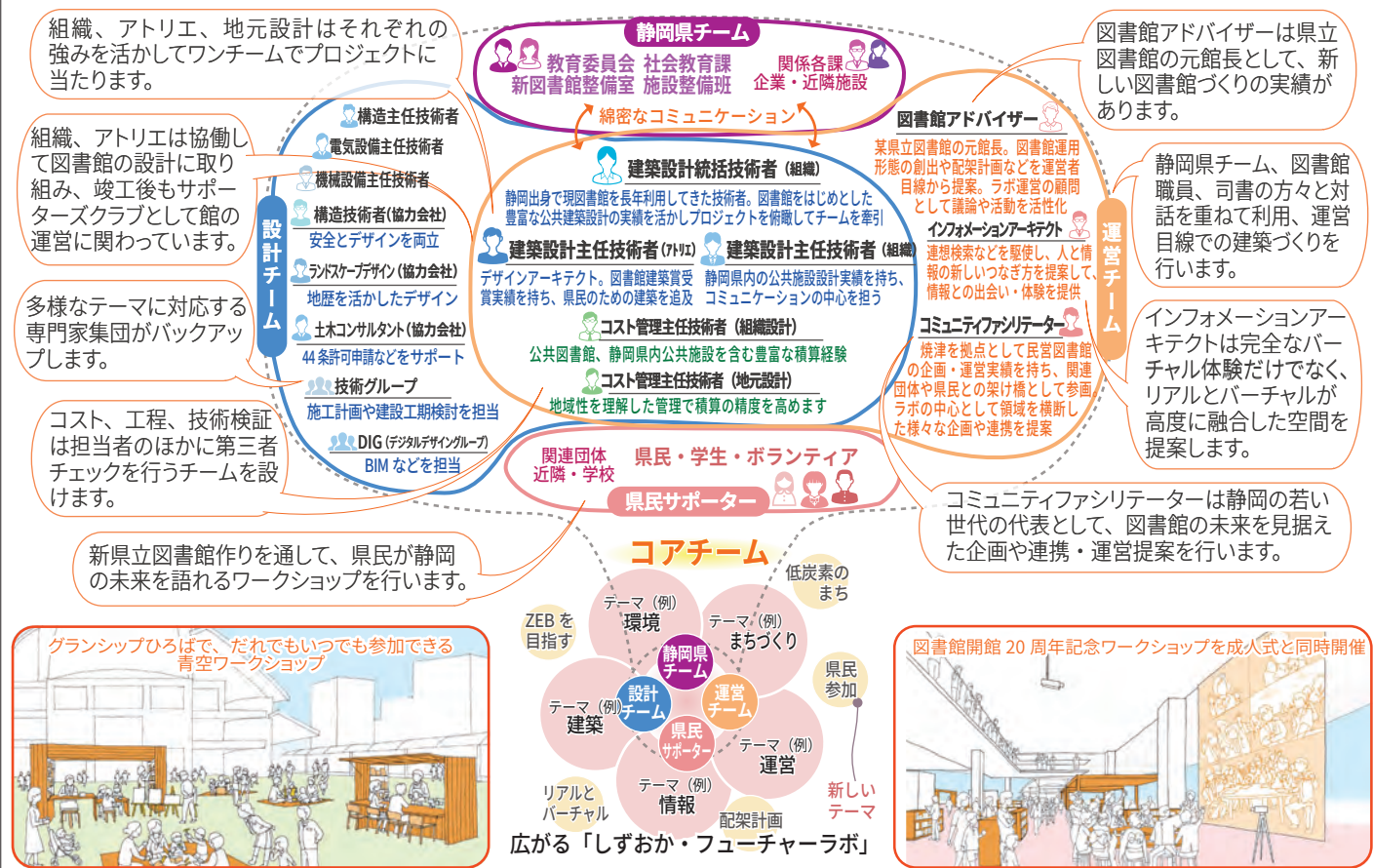
東静岡はかつて操車場でした。駅ができ、「大きな骨格」と「大きな建築」が現れ、街の「ランドマーク」となりました。
この大きなまちに付加するべきは、人と人が顔をあわせ、生きた情報を交換し、豊かな交流・活動の種子を生む「小さなコト」だと考えます。
「小さなコト」がこの地に広がり、のびやかなランドスケープとなってまちに息吹を吹き込みます。

やわらかい建築が新たな地形をつくる

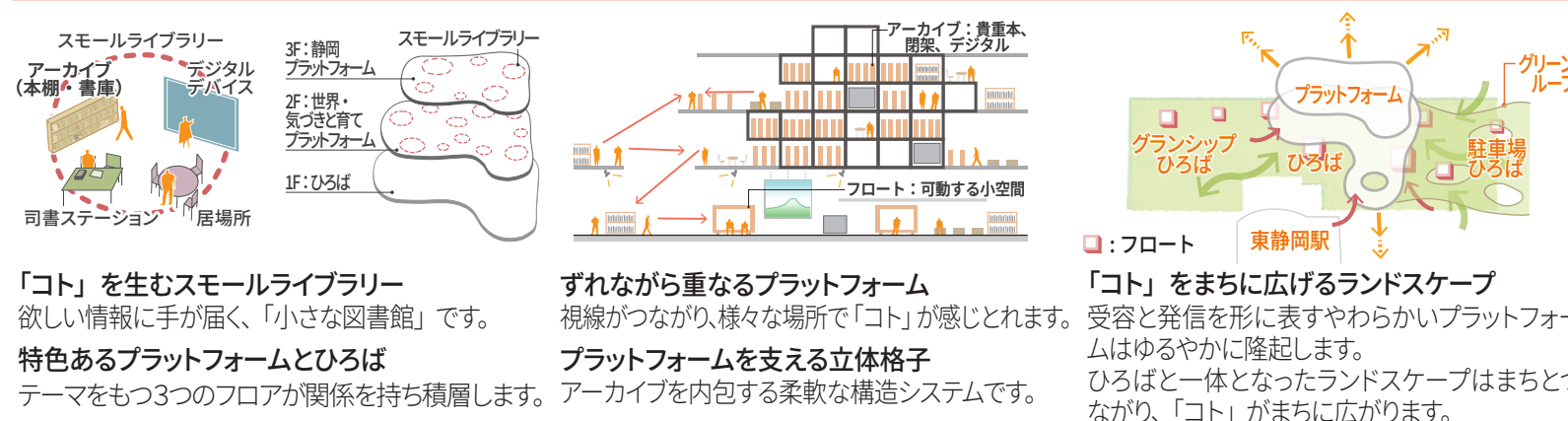
私たちの提案する新県立図書館・PORTは、グランドレベルの「ひろば」とその上にずれながら重なるやわらかいプラットフォームから成っています。
「小さなコト」を受容し（IM-PORT）、育て、発信する（EX-PORT）することを、たゆたう輪郭に表現しながら、ゆるやかに隆起します。廻りのオープンスペースと一体となり、新たな地形をつくります。

様々なテーマに高度に対応する専門家集団が協働するチームでのぞみます

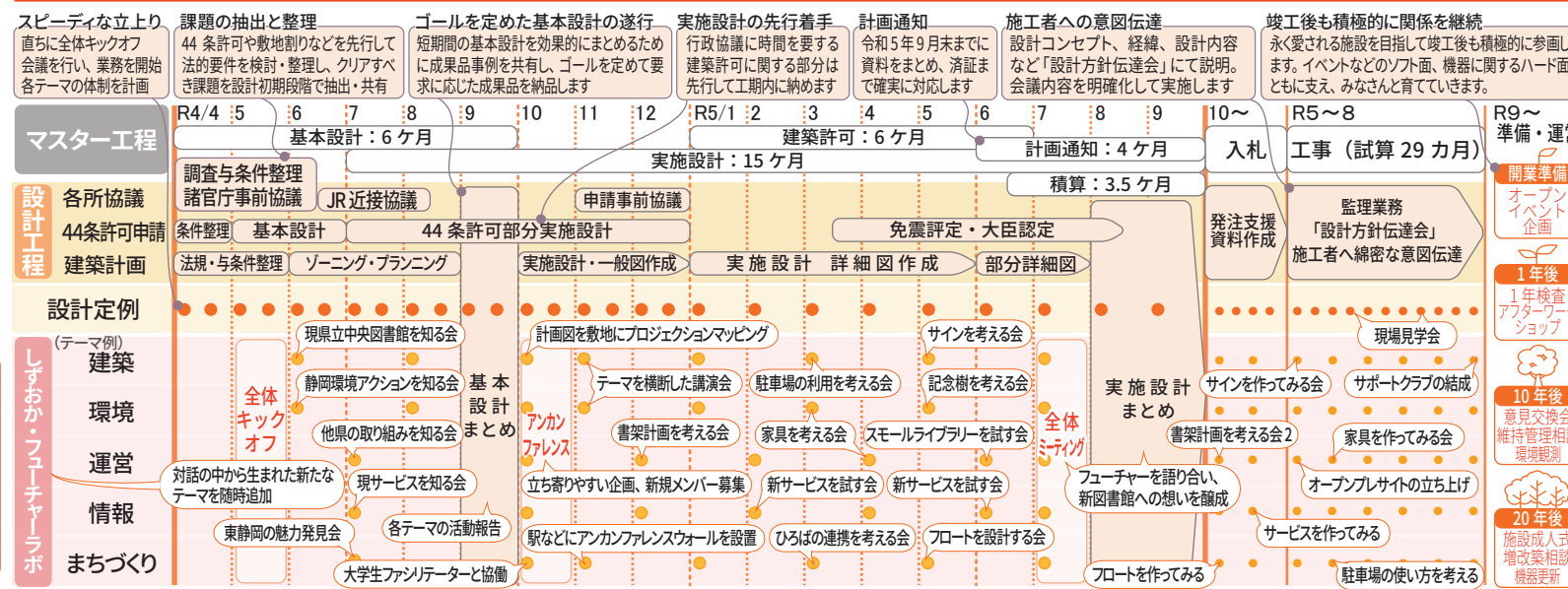
- ・所属や立場（ドメイン）を超えて、新図書館についての検討テーマを持ち寄り、解決する「課題解決型」のチームです。
- ・しずおか・フューチャラボ：まちづくりや環境問題など、図書館建設をきっかけに県民参加のプラットフォームをつくります。
- ・コアチームは設計・建設・開館準備から、開館後もサポーターやアドバイザーボードとして図書館の成長を支えます。
- ・将来に負担を残さず、資産となるような図書館づくりのため、ライフサイクルコストの低減は徹底します。建設コスト、維持管理コスト、運営コストなど、テーマごとに図書館の生涯にかかるコストを積み上げ、全体事業費として検証します。



新県立図書館・PORT の空間構成：コトが生まれ、つながり、まちに広がる



新図書館への想いを醸成し、基本設計から竣工後までを見据えたスケジュール管理を行います



小さなコトが重なり合う新たな地形 - 立体的なランドスケープとしての図書館



北東側外観。
グランドレベルから駅、2階デッキ、屋上展望ひろばまで街をつなぎ、人をつなぎ、歩いて楽しい「立体公園」のような図書館です。



駅側外観。
1階の「ひろば」や上階に重なる「プラットフォーム」の間から人々の活動があふれでてまちと人と情報が織りなす新たな風景をつくります。



グランシップ広場から見る外観。
人々の活動する姿があふれ、まちに息吹を与えます。



2F 気づきと育てプラットフォーム。
駅から直結する導入ゾーン。光庭を中心に回遊を促し、また天井高を抑えたヒューマンな空間です。



3F 静岡プラットフォーム。
静岡コンテンツを集めた最上階のフロアです。下階の様子やテラス、街の景色を眺めながら静岡に関する学びを深められます。



2F 世界プラットフォーム。
ずれながら床が重なることで、視線を変化させ、様々な場所をつなぎ、ここで生まれる「コト」を感じることができます。



西側鳥瞰。
グリーンループに覆われた公園のような駐車場ひろばからグランシップ広場まで連続する緑のランドスケープです。東静岡のまちをつなぎ新たな地形となります。



1F ひろば。
天井が高く、活動のボックスや可動のフロートなどが点在する可変的な空間です。サッシを開放して外部にもフラットに繋がります。

知の循環のハブ(結節点)



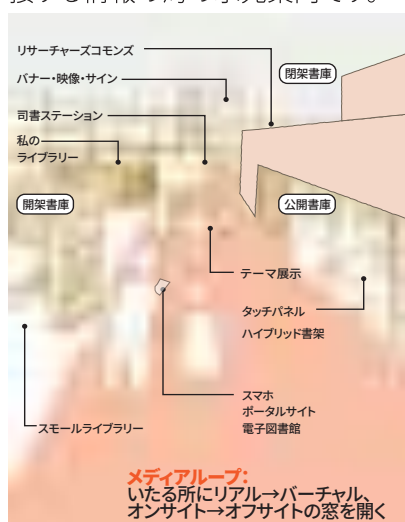
拡張する情報ライブラリー

オンサイト (館内)

- 閲覧環境の再構成
 - 貴重・増架・公開・開架・参考の階層化
 - スモールライブラリー
 - 私のライブラリー
- 情報体験
 - サインエージ
 - インスタラクティブ
 - 情報と空間の融合
 - ハブリッド書架
- データベース
 - WEB閲覧
 - 高精細画像
 - 連想検索
- DXによる情報基盤
 - 電子図書館=デジタルアーカイブ
 - ポータルサイト
 - SNS
 - デジタル情報創造
 - ジャパンサーチ登録
 - 文化財のデジタル里帰り
- アウトリーチ活動
 - 学校連携、移動図書館
 - 他機関(企業・民間)出張サービス
 - 市町村立図書館協働、サポート
- リアル (出版物)
- バーチャル (デジタル情報)
- オフサイト (館外)

メディアループを介して展開
する INFO-SCAPE

回遊動線メディアループにサイン、映像、展示などの情報を掲示します。スモールライブラリー、テーマ配架、私のライブラリーなどが隣接する情報の海の水先案内です。



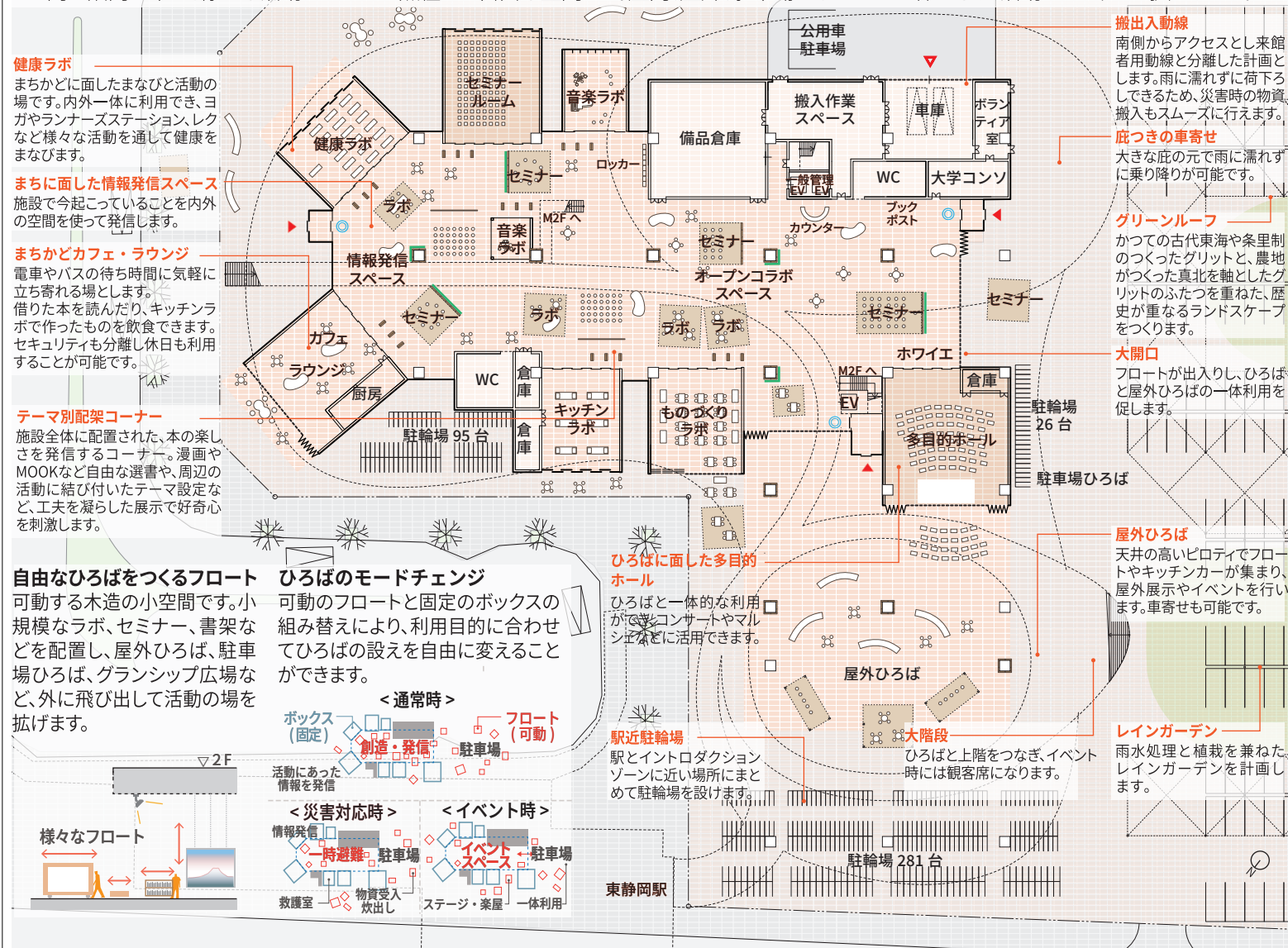
3F 静岡プラットフォーム：静岡を学び、編集・創造し、発信する拠点

新県立図書館ならでは、ここにしかない「静岡学」を、こどもから成人まで、県民自ら創造していく場です。



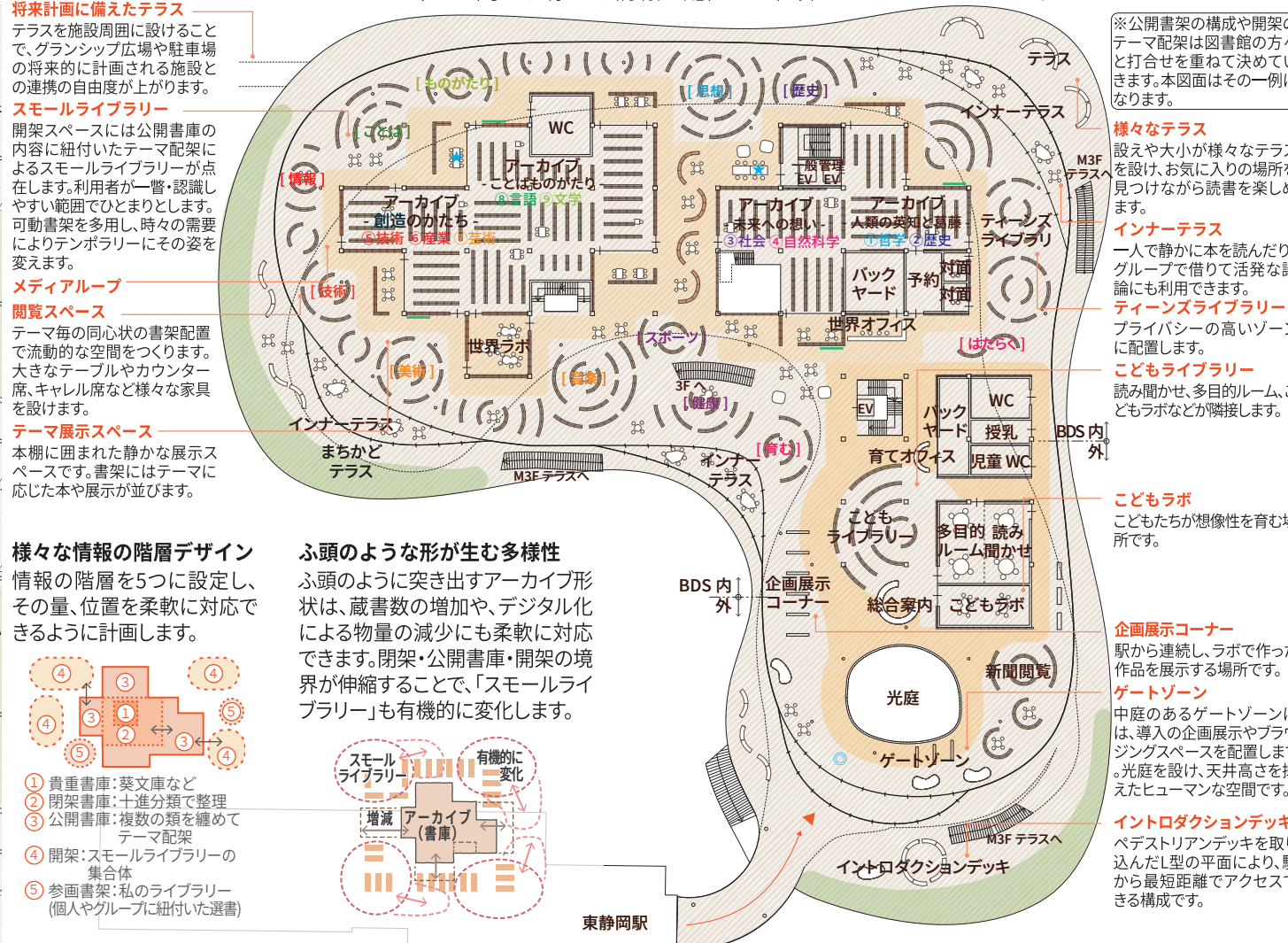
1F ひろば：県民が自ら創り広げる情報と活動の広場

高い階高の中に、様々な活動スペースが点在する自由な空間です。屋内、屋外、駐車場のひろばが一体となり、活動がフラットに広がります。



2F(グランシップ側) 世界プラットフォーム：静岡から世界へダイレクトにつながる

リアル、バーチャルを問わず様々な情報を配置し、世界へつながるフロアです。



2F(駅側) 気づきと育てプラットフォーム：駅から直接アクセスするゾーン

アクセスやすく、展示や子育て世代に関する情報を配置するエントランススペースです。

小さなコトがつくる、人にやさしい建築

低層・駅直結・歩いて楽しい図書館



ひろばから屋上まで、緩い階段やスロープで登ることができます。屋上ひろば、屋外テラス、半屋外のインナーテラスを配置します。

利用者が情報にアクセスしやすい図書館



紙媒体や展示物、デジタル情報など、様々な情報に気軽にアクセスできる空間・仕器計画とします。

情報格差を解消する図書館



司書ステーションを利用者の近くに配置し、デジタルリテラシー向上のサポートを行います。

ライブラリアンが管理しやすい図書館



アーカイブの中はハイサイドライトから光が射す明るい空間とします。専用の管理動線やミーティングスペースも設けます。

日射や風を和らげる利用者にやさしい駐車場



ツル性植物によるパーゴラで駐車場の一部を覆い公園のような駐車場とします。

管理しやすい図書館

3層のメインフロアの間に中間階を挟んだ低層の構成。メインオフィスはM2階に、サブオフィスは1階ひろば2階世界・こども3階静岡など適所に配置します。

★司書ステーション

利用者の近くに分散配置します。

◎BDS

2階以降の設置も可能な計画とします。

編集/創造

静岡ラボ

蓄積

アーカイブ

編集/創造

世界ラボ

蓄積

私のライブラリー

編集/創造

まちかどテラス

編集/創造

フロート+ひろば+駐車場

編集/創造

まちかどテラス

編集/創造

フロート+ひろば+駐車場

編集/創造

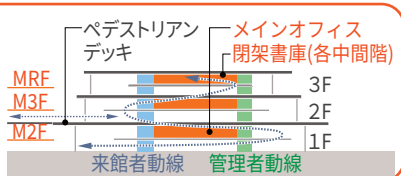
まちかどテラス

編集/創造

まちかどテラス

編集/創造

まちかどテラス



ライブラリアン commons

県内の市町村立図書館、学校、企業など他機関へのアウトリーチ活動の拠点。情報交換、研修・会議、活動の協働。

屋外階段

各テラスを繋ぎ、避難時にも有効です。

県民 commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

県内の市町村立図書館、学校、企業など他機関へのアウトリーチ活動の拠点。情報交換、研修・会議、活動の協働。

屋外階段

各テラスを繋ぎ、避難時にも有効です。

県民 commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

県内の市町村立図書館、学校、企業など他機関へのアウトリーチ活動の拠点。情報交換、研修・会議、活動の協働。

屋外階段

各テラスを繋ぎ、避難時にも有効です。

県民 commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

県内の市町村立図書館、学校、企業など他機関へのアウトリーチ活動の拠点。情報交換、研修・会議、活動の協働。

屋外階段

各テラスを繋ぎ、避難時にも有効です。

県民 commons

フリースペース、私の書斎、サイレントルーム、ナレッジラボがある。世界の会員サイトにアクセスできるスペース。

ライブラリアン commons

県内の市町村立図書館、学校、企業など他機関へのアウトリーチ活動の拠点。情報交換、研修・会議、活動の協働。

全利用者にやさしい図書館
こども、老人、車いす利用者、LGBTなど誰にでもやさしい水廻りスペースや多言語対応のサイン、サイネージ、ポータルサイト、子育て世代にやさしいキッズルーム、ロッカールームなど配置します。

ライヴストレージ

特殊コレクションの一部をガラス張りやデジタル展示。公開書庫の中に本に囲まれた研究者のスタディールーム。

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信
スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信
スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーB

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーA

探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーD

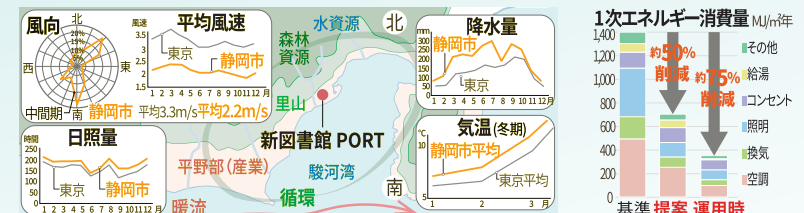
探索/編集/創造/発信

スモールライブラリーC(プレゼンスペース)

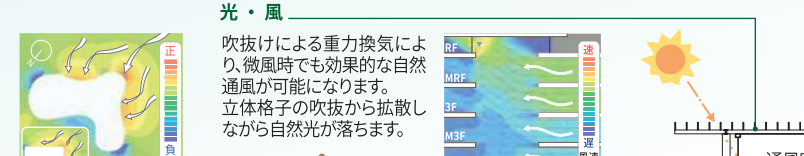
静岡の恵まれた地勢・気候を活かしたここにしかない環境建築

暖流が流れ、南から陽が差す温暖な気候のもと、静岡ならではの低炭素建築・循環社会をつくりまします。

自然通風、自然採光、雨水利用・雨水涵養、木材活用、太陽光発電など、静岡の地勢・気候の特徴を活かし、自然エネルギーを活用します。



風
自然換気可能期間の通風シミュレーションです。やわらかな外皮ラインは長方形に比べ、屋内に風を導きやすい形状になります。



熱・緑
屋上緑化による熱負荷軽減を検討します。

木材利用
ホルバーを天井に使用することで吸音し、場所に応じた音環境をつくりまします。

光・風
おだやかな風環境を活かし、年間通じた自然通風が可能です。方位により最適化した出幅の庇とスクリーンにより直接光をコントロールします。

光
家具や書架を利用したタスク照明を活用します。輝度対比のシミュレーションにより、照度を抑え快適な閲覧環境をつくりまします。

感染対策
屋外テラスや半屋外のサンルーム等の開放し易い開口部により換気を促進します。

熱
床輻射冷房・暖房により、居住域の温熱環境を効率的に整えます。温暖な気候を活かし、冬季の暖房負荷を軽減します。

構造
図書館メインフロアとひろば(グランドレベル)の間に免震層を設けることで、地下をつくらず、土を極力動かさないような計画とします。構造の主要部は寸法を揃えることでプレキャストコンクリート化し、型枠などの廃棄物を減らします。

木材利用
フロートには地場産木材の活用を積極的に検討します。

水
雨水貯留・利用、雨水涵養により、水の循環をつくりまします。

緑
駐車場のグリーンループ(ツル性植物によるパーゴラ)・芝ブロック舗装・図書館テラスの緑化がグランドレベルの芝生広場と一体となり、ボリュームのある緑を形成します。

創エネ
最上階トップライトにガラス一体型太陽光発電を設置します。駐車場のグリーンループに太陽光発電を組み込むなど、日射量の多さを活かし、将来の増設を可能とします。

B C P
EV車蓄電池のリユースによる蓄電池を駐車場に設置し、災害時の電源供給・情報拠点、防災アーカイブの蓄積と発信源となります。

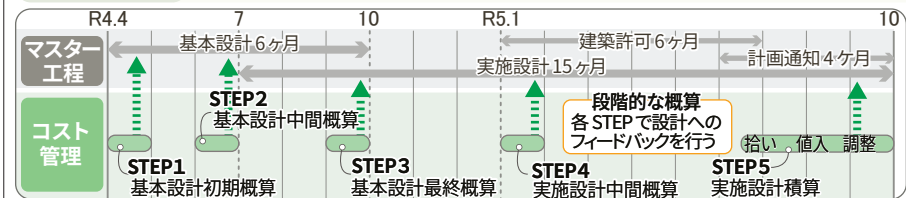
脱炭素のまちづくりを広げる、Eco・Port(環境拠点)としてクラウドなどを活用しEcoPORTでの脱炭素化への取り組みをアーカイブ・発信します。地域で活躍する脱炭素コンサルタントの育成、スマートコミュニティの構築などひとつづつ・まちづくりにつなげます。フロートは環境建築のリビングラボとして活用します。大学や企業と協働し、エコアイテムの成果を検証し、県民参加の環境イベントなどで公開します。エコアイテムは可能な限り交換可能とし、次世代技術のロードマップに沿って更新します。

マイルストーンを設定した概算チェックによりコスト管理を確実に実行

各フェーズの概算チェックによる確実なコスト管理

- 基本設計初期・中間・最終段階、実施設計中間に概算を行い、確実に最終の積算時に予算内に工事費が収まるようにコスト管理を行います。

STEP1 基本設計初期概算	社内の類似図書館の工事費データベースを参考に、プロポーザル案で概算を算出し、物価上昇率を加味して試算します。
STEP2 基本設計中間概算	工事費に大きく影響する外部建具、外装、テラス、書架・家具などの概算見積を徴収しSTEP1の概算工事費を補正します。
STEP3 基本設計最終概算	基本設計で確定した一般図を元に積算事務所と協働で概算を算出し、メーカー見積を再度徴収し概算の精度を高めます。
STEP4 実施設計中間概算	実施設計の途中でSTEP3からの変更部分、詳細決定部分の概算を再度行い、精度をUPし、予算に収まることを確認します。
STEP5 実施設計積算	数量算出を1か月、単価入れを1か月、修正・調整を1.5か月の計3.5か月で最終的な予定価格を決定、確実なコスト管理を徹底します。

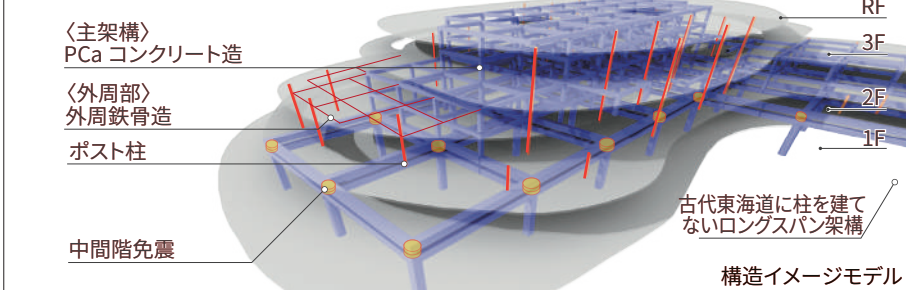


免震＋高弾性 PCa 立体格子架構で「想定超え」の大地震に対応

- 中間階免震とマットスラブの採用により、土工事を最小に抑えながら、最大級の耐震安全性を確保します。
- 免震上部は、立体格子状の圧着 PCa フレームを構造コアとして、図書館機能の自由度と耐震性能を両立します。PCa フレームの圧着力は、想定を超える地震動の際にも架構を元に戻らせる力が働き、繰り返しの極大地震にも耐える粘り強さを備えます。免震下部も PCa 圧着フレームとしてトータルに超高弾性な架構をつくります。
- 圧着 PCa 立体格子の働きにより、外周の架構は地震力から解放されたスリムな鉄骨で構成でき、閲覧室は広々とした開放的な空間となります。
- 床はハーフ PC およびデッキプレートとし、経済的で短工期な躯体とします。

将来の書架配置変動にも対応する合理的な構造計画

- 将来的な蔵書数の変動により、閉架書庫、公開書庫の面積が増加した場合でも、構造グリッド内で予め荷重を見込んで設計することで書架配置変化に対応できる設計とします。



静岡の環境を活かしランニングコストを低減

自然エネルギーの活用

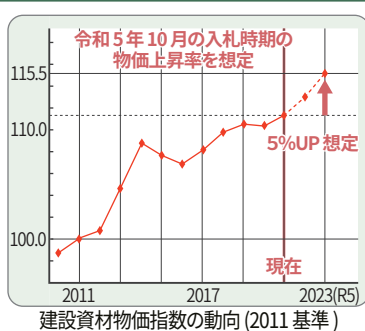
- 晴天率の高い静岡の特徴を活かし、駐車場の藤棚などに約100kWの太陽光発電設備を設置します。
- 豊富な地下水の安定した熱を空調の熱源に活用します。
- 建物形状を活かした自然通風を行い、機械換気のランニングコストを抑えるとともに感染症対策にも役立てます。

維持管理のしやすさの追求

- 各所テラスはガラス清掃、外壁点検に役立ち、深い庇による日射遮蔽で紫外線による本の日焼けを防止し、また空調の熱負荷を軽減します。
- 外装材は耐候性、耐久性の高いメンテナンスフリーな材料を選定します。

コスト変動を加味したコストコントロール

- 令和5年10月の入札を見据え、各ステップの概算はその後の物価上昇率を見込み、余裕率（約5%）を含んだ概算を行います。
- 特に現段階でコスト変動、工事費に大きく影響する鉄骨、建具、テラス面積、書架・家具などは特に注視して概算を行います。



コスト変動等・注意すべき項目

項目	変動予測・対応方針
鉄骨工事	BCP 材納期 13 か月以上、価格も上昇中。構造形式、工事工期を慎重に判断。随時鉄骨納期、見積を徴収し概算に反映
建具工事	令和4年4月から10%価格UPが確定的。最新の見積を随時徴収しコスト管理
テラス	各概算STEP段階で面積を随時算出。コストオーバーの際は面積、仕上材で調整
書架・家具	早期に仕様方針を決定し見積を徴収。仕様の松竹梅の見積を予め用意し、オーバーの際は迅速に価格の入替を実施し予算内に収まるかを確認

今後の物価上昇率5%を見込んだ概算を算出

工事費内訳書			① 建築工事内訳書			(千円)		
① 建築工事	74%	8,667,924	I. 図書館	建築直工の概算は類似物件の歩掛、価格を参考に物価上昇と今回の特殊要件を加味し補正	14.金属	562,622	類似施設単価参考	
② 電気設備工事	12%	1,339,800	1.直接仮設	256,291 類似施設単価参考	15.左官	77,621	類似施設単価参考	
③ 機械設備工事	13%	1,506,000	2.土工	63,658 断面を想定の上数量算出 単価は刊行物等	16.建具	423,001	内部建具、類似施設単価参考	
④ 昇降機設備工事	1%	130,438	3.地業	460,600 類似施設単価参考	17.カーテンウォール	766,438	日除けスクリーン203,840千円 外部建具含む	
直接工事費	100%	11,644,162	4.鉄筋	306,167 断面を想定の上数量算出 単価は刊行物等	18.塗装	40,981	類似施設単価参考	
共通仮設・経費 (20%)		2,328,832	5.コンクリート	864,070 PC648,393千円を含む、PC断面を想定し 数量を算出、単価は見積と過去事例を参考	19.内外装	299,888	類似施設単価参考	
工事価格		13,972,994	6.型枠	105,100 断面を想定の上数量算出 単価は刊行物等	20.ユニット及びその他	2,508,740	テラス仕上約10,000㎡238,556千円含む 開架・公開書架81万冊800,000千円	
消費税等相当額 (10%)		1,397,299	7-1.鉄骨	690,308 類似施設歩掛かり単価参考	21.発生材処理	17,119	閉架書架119万冊600,000千円 家具 300,000千円 含む	
合計		15,370,294	7-2.免震	188,823 類似施設単価参考			静岡市残土処分場単価参考	
			8.既成コンクリート	60,614 外壁PC版、類似施設単価参考	計	8,038,474		
			9.防水	162,810 屋上防水等、類似施設単価参考	II. 囲障	7,680	範囲を設定・単価は刊行物	
			10.石	0 該当なし	III. 構内舗装	277,139	工作物・既存駐車場撤去含む	
			11.タイル	45,334 1F内部床	IV. 屋外排水	56,209	過去事例より想定	
			12.木工	127,523 軒天ルーバー、類似施設単価参考	V. 植栽	1.植栽 222,067 2.屋上緑化 66,355	藤棚約7,500㎡含む テラス部分	
			13.屋根及びとい	10,766 樋・ドレイン、類似施設単価参考	計	8,667,924		
今後の物価上昇 (約5%) を予備費として計上 (千円)								
物価上昇等予備費 (約5.1%)		778,706						
総合計 (予算)		16,149,000						
ベデストリアンデッキを建築化したため、ベデ予算16.5億円は本体工事を含む								

今後の物価上昇(約5%)を予備費として計上	(千円)
物価上昇等予備費(約5.1%)	778,706
総合計(予算)	16,149,000

ベドストリアンデッキを建築化したため、ベデ予算16.5億円は本体工事を含む

イニシャルコスト、ランニングコストの内容を明確化

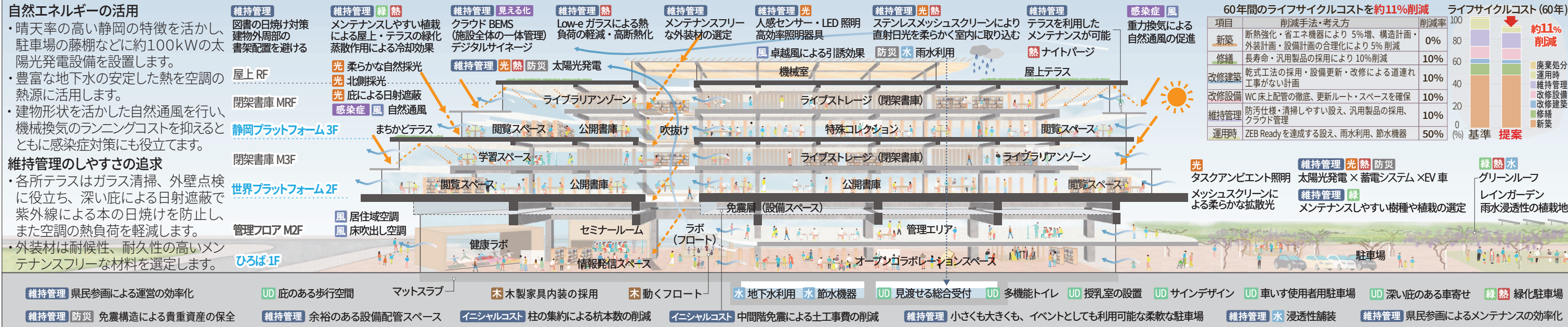
イニシャルコストの内容を精査

- 建築本体工事に含むものと別途工事の区分を合意形成を図りながら明確に区分します。
- 別途工事である図書館システム、DXのコンテンツ制作費などのソフト関連工事費の内容を精査し、基本設計段階から概算を行いイニシャルコスト全体を把握します。

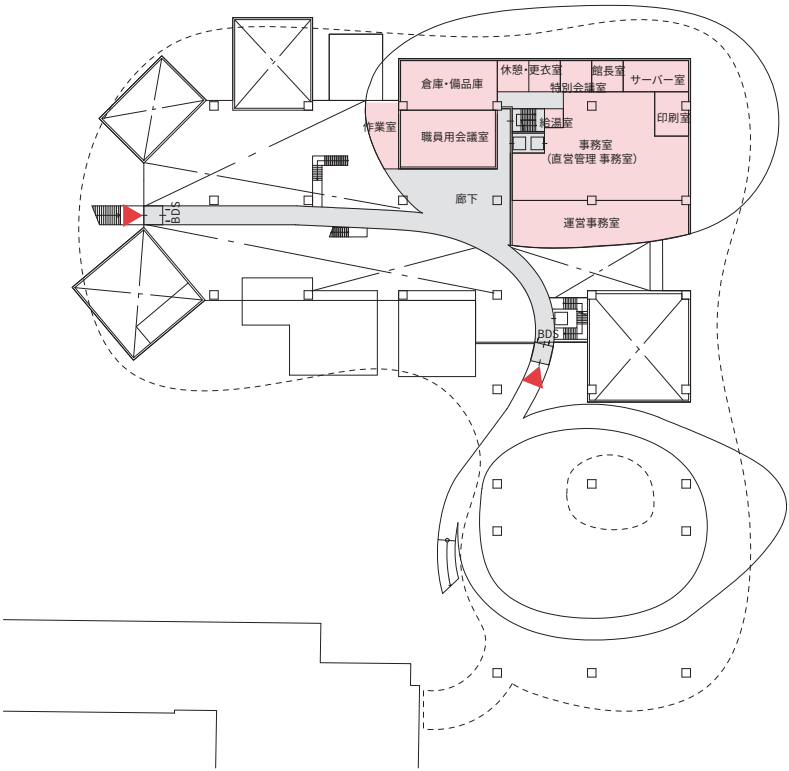
ランニングコストの縮減

- メンテフリーな外装材、高断熱、高効率機器の採用など建築ハード側で維持管理費を軽減できる設計を行います。
- 開館後の運営費の軽減については、県民がイベント企画など運営の一部を担うことにより人件費を軽減することをご提案いたします。

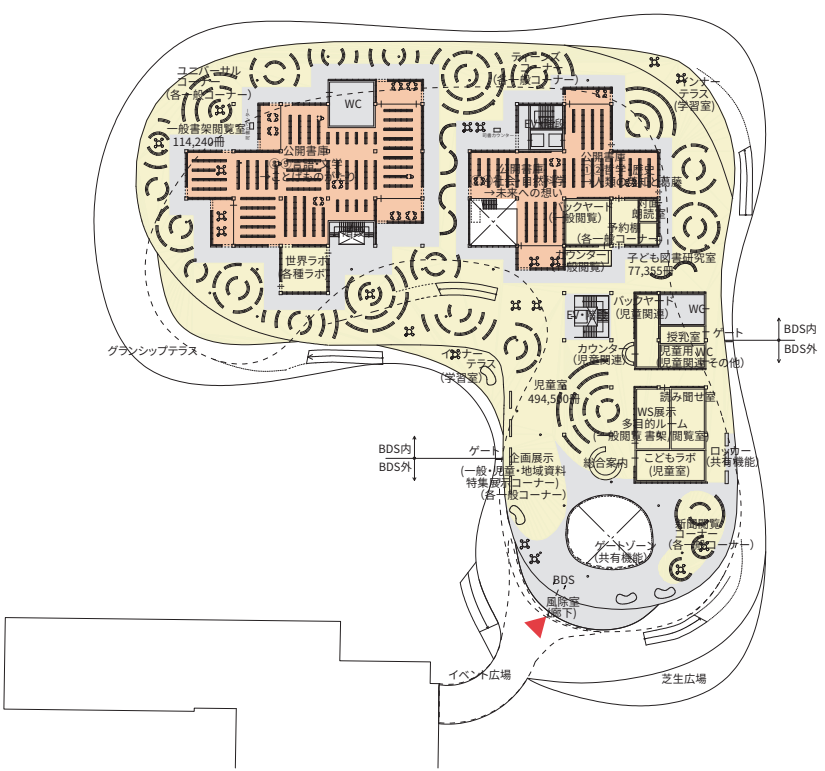
イニシャルコストの明確化
設計チームによるコスト管理 本体工事 +@ (161 億) ・ 本体工事 ・ 外構工事 ・ 書架 ・ 家具
運営チームによるコスト管理のサポート 別途工事 ・ 図書館システム (BDS・自動貸出・検索機) ・ DX、ソフト開発、HP デザイン ・ PC、端末、LAN 構築 ・ 人件配置、運営トレーニング費 ・ 移転費
ランニングコストの縮減方法
建築側の素材・設備の選定は維持管理のしやすさを意識 維持管理 ・ 光熱水費・清掃費・改修費・修繕費 県民参加による人件費の削減 人件費 ・ 運用コスト



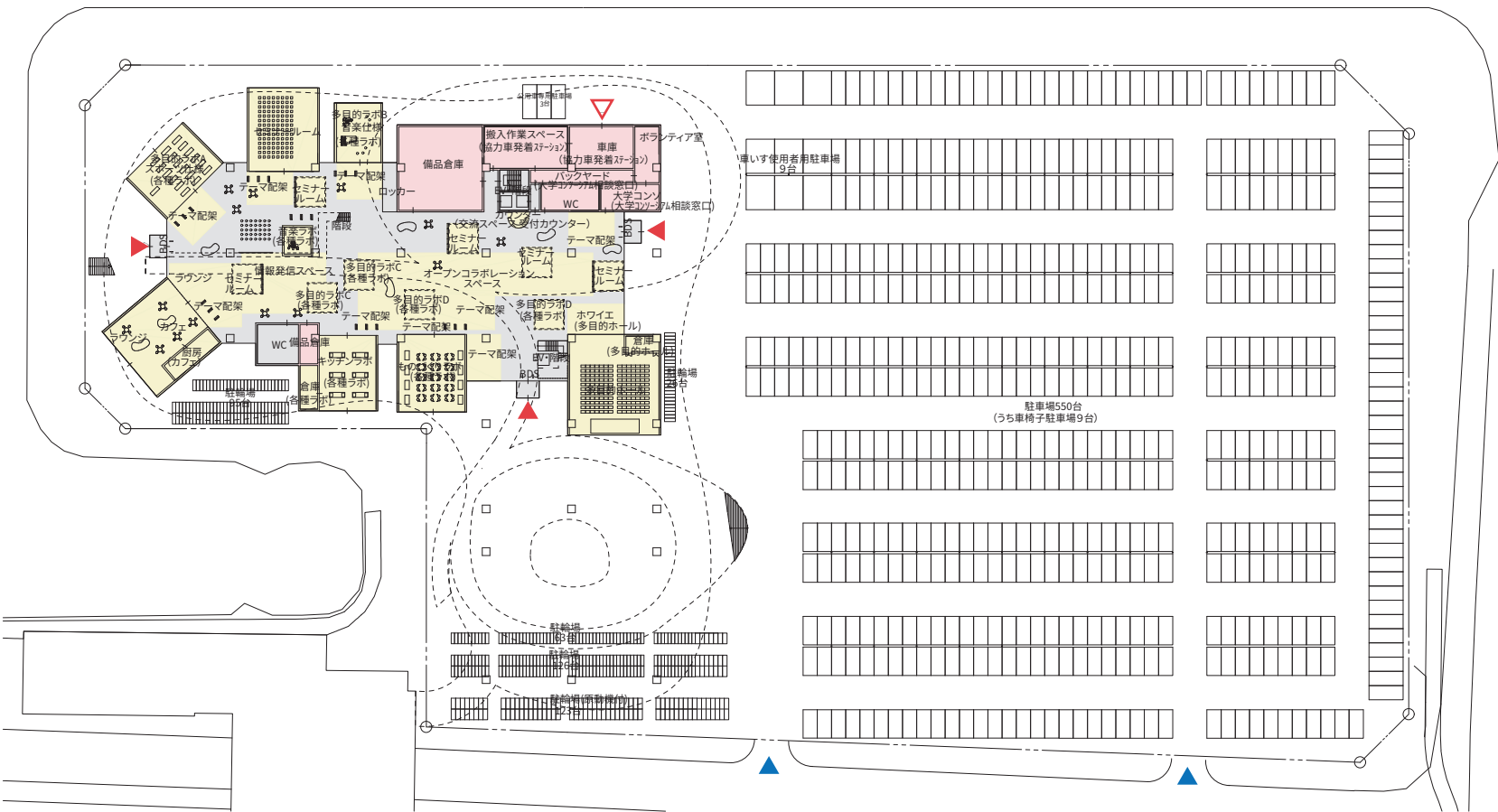
用途別面積表	
エリア・スペース・諸室	技術提案面積 (㎡)
サービスエリア	8,881
一般閲覧スペース	3,456
書架／閲覧室	2,908
各一般コーナー(カウンター除く)	447
カウンター	81
対面朗読室	21
その他	0
児童書関連	1,356
児童室	643
読み聞かせの部屋	56
子ども図書研究室	552
カウンター	53
その他	53
地域資料スペース	665
書架／閲覧室	387
貴重書展示コーナー	132
歴史文化情報センター	103
カウンター	43
学びの活動スペース	570
学習室	306
個室研究室	31
サイレントルーム	233
交流スペース	2,517
情報発信コーナー	155
テーマ別配架コーナー	419
各種ラボ	859
オープンコラボレーションスペース	309
多目的ホール	346
セミナールーム	336
受付カウンター	30
大学コンソーシアム相談窓口	63
カフェ・ラウンジ	317
カフェ	176
ラウンジ	141
保存エリア	4,628
公開書庫	1,677
閉架書庫	2,751
貴重書庫	156
保存処理室	44
管理・共有エリア	6,171
直営管理	1,376
館長室	31
特別会議室	31
事務室	570
作業室	47
印刷室	33
協力車発着ｽﾃｰｼｮﾝ	197
サーバー室	66
給湯室	9
休憩室・更衣室	73
ボランティア室	47
倉庫・備品室	136
職員用会議室	136
民間管理	450
運営事務室	190
備品倉庫	260
共有機能	4,346
廊下、トイレ、機械室等	4,346
合計	19,680



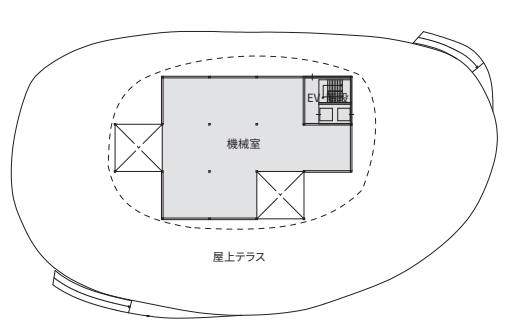
M2F 平面図 S1: 1200



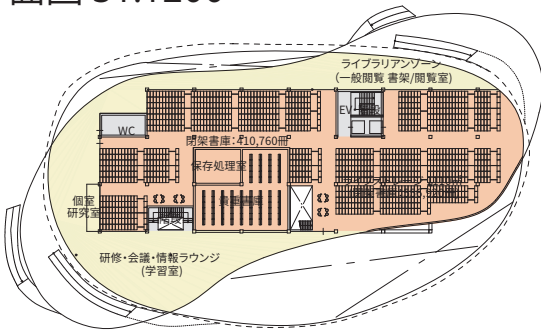
2F 平面図 S1: 1200



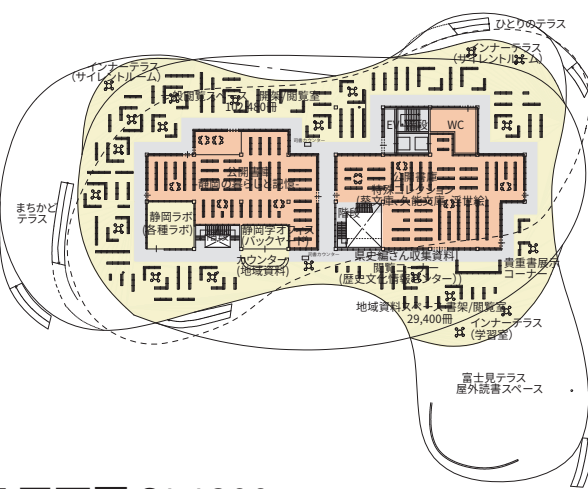
1F 平面図 S1: 1200



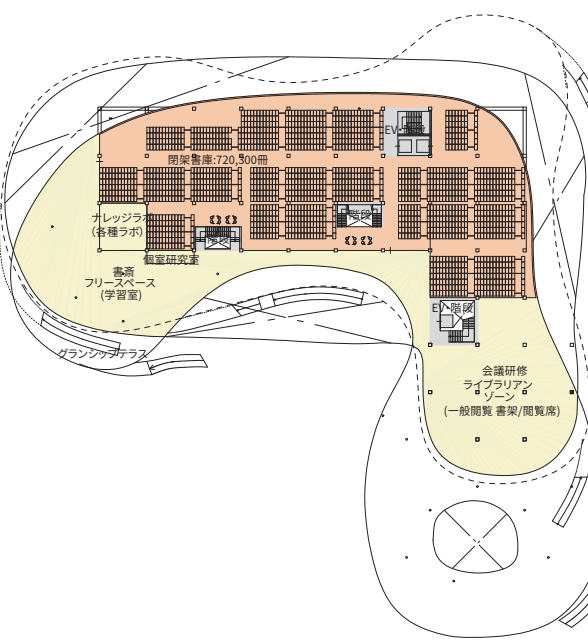
RF 平面図 S1: 1200



MRF 平面図 S1: 1200



3F 平面図 S1: 1200



M3F 平面図 S1: 1200

▲ 来館者出入口 ▲ 搬出入口 ▲ 一般車出入口